

令和8年度事業計画書

令和8年4月1日～令和9年3月31日

森林の多面的機能を維持・発揮させるためには、間伐や主伐後の再造林を確実にを行い、森林資源の適正な管理・利用を推進することが不可欠です。地域の自然条件に応じ、複層林化や広葉樹林化を図るなど、多様で健全な森林へと誘導し、次世代へ引き継ぐための森林の適切な整備が求められています。

現在、県内の多くの林業事業体が循環型林業の確立に邁進していますが、現場での労働力確保は依然として厳しく、森林整備技能者の確保が喫緊の課題となっています。

こうした状況のなか、魅力ある職場環境を整備するため、「人材育成」「労働安全」「雇用改善」の三部門を軸とした事業を展開しており、特に森林整備技能者雇用支援事業を通じて雇用拡大を助成するなど、担い手の確保・育成に注力しています。

本年度は、第5期中期事業計画の最終年度にあたり、令和7年業実施状況を踏まえて事業を実施することとし、各事業体への取組を支援していく計画です。

令和8年度事業予算は、総額40,000千円で内訳は以下のとおりです。

1. 人材育成

(1) 資格取得助成事業（予算500千円）

県内の林業事業体に雇用される現場技能者に対し、木材生産等の林業に必要な資格を計画的に取得させる場合、その林業事業体を対象に必要な経費を助成する。

2. 労働安全

(1) 労働安全管理事業（予算17,500千円）

①労働安全研修（予算600千円）

県内の林業事業体等に雇用される現場技能者に対し、労働災害の予防を目的とした現場作業を安全に遂行するための手順の習得や能力向上等の研修会を開催する林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

②労働安全巡回指導（予算400千円）

県内の林業事業体等を対象に労働安全衛生に関する巡回指導を実施するために必要な経費を助成する。

③労働安全対策（予算16,500千円）

・安全装備品助成（予算11,500千円）

県内の林業事業体に雇用される現場技能者に対し、労働災害の予防を目的とした林業労働のための安全装備品を支給する林業事業体を対象に必要な経費を助成する。

・蜂アレルギー対策支援事業（予算5,000千円）

県内の林業事業体に雇用される現場技能者に対し、労働災害の予防を目的とし

たハチアレルギー対策（ハチ毒抗体検査及びアナフィラキシー補助治療剤処方）に取り組む林業事業体を対象に必要な経費を助成する。

3. 雇用改善

（1）森林整備技能者雇用支援事業（予算 20,800 千円）

県内の林業事業体に雇用される森林整備技能者の育成確保をめざし、社会保険や退職金共済等に加入した場合、その林業事業体を対象に事業主負担相当額を助成する。

（2）リーダー育成支援事業（予算 1,200 千円）

県内の林業事業体に雇用される現場技能者の資質向上につながる事業に対して、必要な経費を助成する。現場技能者のうち、しまね林業士等の資格取得者に対し、特別に支給する手当の一部を助成する。